

ともしび通信

発行：NPO法人没イ手の会・京都



みんなでお歌おう!

まだまだ、寒い日が続きます！
お身体を大切にお過ごし下さい



時間がないから何もできないは嘘

病床でこれを書いていきます。肺癌だそうです。私が出たんです。何が起るか、この世は凡夫の私にとって不思議だらけです。改めて自分の身体について考えさせられました。

術後、胸が痛いので困っています。先生は時間を解決するからと呑気な事を言っています。痛いのに・・・

私が勉強を始めたのは高校からです。仏教に触れ、本を読むようになって、勉強の面白さを初めて知り、夢中で勉強しました。時間がないことは私には理由になりませんでした。アルバイトのちよつとした空き時間にも本を読

むような子に、いつの間にならなくなりました。世界史など面白くて図書館から参考書を何冊も借りてきて読み、先生より詳しくなつたことを思い出します。

しかし、積み上げるような科目、例えば数学や英語はダメでしたね。何回か挑戦しても覚えられないのです。大変後悔しました。小学、中学でもつと勉強しておけば良かったと、後悔先に立たず、ですね。

人間は時間がない方がよりアクティブに動く動物なのかも知れませんね。昼間は目一杯働いて、夜学校では勉強に夢中になり、部活ではバレーボール部のキャプテンをして、音楽部では合唱のタクトを振り、5、6人で宗教研究会を作り、自分たちの考えを書いて、それを本にして仲間

ました。

お金の足りない分は学校の近くの商店に広告をお願いして賄いました。今考えても、よくそんな時間があつたと思います。あつたのです。絞り出していたのです。成績も殆ど通信簿は4か5ばかりになつていました。4年になり将来は大学か就職かを選ばなければならなくなつたとき、先生は大学を推薦したくれましたが、私には経済的にとても無理な事は分かっていました。

また、国立は5教科7科目の受験ですから、私には数学、化学で受からない事はわかっていましたので、私立の3教科(英語、国語、社会)の受験科目の学校なら受かる自信がありました。が、入学金、授業料がはらえませんでした。いざれにしても大学は諦めていました。かと言って、どこに就職するのも決めていなかった。2月頃、仏教青年

会の先輩から、福岡でお金を出してくれる人がいるから、弘さん、大学に行つてみないかと言って頂いて、私は母を京都に置いて、単身福岡に行く事を決めました。

大学はもう締め切りが過ぎたところが多くて、その時期まだ受験できるのは、福岡大学と西南大学だけでしたので、福岡大学を受験しました。幸に受かり、私は大学の寮に入り、お金を出してくださったお宅の仕事(印刷業)を手伝いながら通学するという生活がスタートしました。

福岡でも時間があつた訳ではありませんでした。昼間は学校、夕方から仕事の手伝い、夜は家庭教師のアルバイト、日曜日にはお寺で念仏会と忙しい日々を送っていました。ですから、「時間がないから何も出来ない」は嘘で、自分に対する言い訳だと後に知

りました。

(次回に続く)

病床の窓から見る雨模様
手術前の我が心なり
しか

お国なまりふと温まる
あの女(ひと)の 手術前
の寒き病室

こんな女が いれば良
いなと裏切られ 当たり
前かと術前の床

籠谷弘

歌声喫茶 3月の予定日
「西院」(第2、4木曜日)
3月12日、26日
「洛西」(第1、3木曜日)
3月5日、19日
詳しくはホームページを!



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。